

森のひととき

- 森の民話と子どもたちの体験 -



神田リエ

1951年、鶴岡市生まれ
 県立鶴岡北高等学校卒業
 元山形大学農学部助教 専門は森林文化論
 著書に『森と人間—生態系の森、民話の森』(共著、朝日新聞社)
 『森のじかん—親しみ、学び、育てる森歩き』(共著、山形大学出版会)など
 つるおか森の保育研究会会長、やまがた緑野民会議委員など

プロフィール

森で過ごすひととき、森の中は自然がいっぱい、不思議がいっぱいです。森の香りに包まれ、風にそよぐ葉音や鳥の声などに耳を澄ましながら、森の中にたたずんでいると、ゆっくりとした時間が流れていくのを感じます。

山形県は総面積の72%を森林が占めており、海から里、山まで多様な森林で構成されています。四季折々の風景は美しく、森林資源も豊富で、人々はその恵みを受けながら暮らし、森の文化・木の文化を育んできました。森での暮らしを今に伝えてくれるもの、そのひとつにふるさとの民話があります。

山形県は民話の宝庫でもあります。民話の世界では自然、なかでも山や森を舞台としている話が多くみられます。柴刈りや炭焼きなど山へ働きにいく話、峠にまつわる話、山姥や狐の登場する話、また私たちの暮らしに身近な樹木もたくさん現れています。民話

には当時の人々の暮らしが映し出されており、森と人との深いつながりを見ることができ、そして絵本の大好きな子どもたちを森の中へと誘ってくれます。

森などをフィールドとする自然体験が各地域で取り組まれています。その中で、未就学児が自然と豊かにかかわっていく取り組みも増えてきています。幼児期における森林での日常的な体験が心身の発達に、またその後の自然との接し方に大きな影響を与えているといわれています。森の中では自然を直接感じることができ、たくさんの生命とであうことができ、子どもたちは五感と身体を使ってさまざまな体験を積み重ねていきます。

日々さまざまな移り変わる森、子どもたちと一緒に私もまた森で過ごす時間・森のひとときを大切にしていきたいと思っています。

企業だって森づくり♪

～日東ベスト株式会社編～



やまがた絆の森
 ★プロジェクト★
 企業等と森林所有者とる
 県との三者協定による
 森づくり活動。現在27
 社・団体、22箇所で開催中。

企業と山村との交流

近年、企業の社会的責任（CSR）や地球温暖化などへの関心の高まりから、県内各地で企業を取り組む森づくり「やまがた絆の森」が広がりをみせています。

今、企業の皆さんは、森づくりや農業の体験などを通して、山村住民との交流や里山の豊かな資源を活用した地域活性化の取組みに関心を寄せています。

水を守る、森を守る

日東ベスト株式会社（寒河江市）は、平成24年2月に県と西川町、地元の沼山区と協定を結び、西川町の山林で「にしかわ絆の森」の活動を始めました。

同社は、「ノザキのコンピーフ」の製造委託先であり、国産初のコンピーフを開発した会社として広く知られています。また、缶詰のほか、主力の業務用冷凍食品などを製造・販売しており、製造過程で必要となる「水」を育む上流の森を守るため、積極的に森づくりに取り組んでいます。

社員とその家族の皆さんは、地元森林組合や沼山区民の協力を得ながら、森の手入れに汗を流し、地域の方々と交流を深めています。

今後は、植栽、下草刈り作業などの森の手入れのほか、キノコの植菌、山菜採りなどを計画しています。

担当者の声



日東ベスト(株)経営企画部 鈴木欣也さん

「絆の森に参加して初めての感想は？」

かつて会長が山形県環境保全協会の会長を務めていたことや、社長が森林保全活動に理解があり、前向きに取り組むことができました。県からは活動地の紹介や地元とのコーディネート、道具の貸出しなどで支援をして頂き、地元の方も大変協力的で助かっています。

「参加者の反応はどうでしたか？」

6月の植樹式は、社員を中心に百名ほど参加しました。参加者からは「土を掘るのが面白かった」「木々の緑と澄んだ空気に癒された」などの声が寄せられています。

「今後の活動の抱負をお願いします。」

2年目以降、弊社の地元のお取引先様を招いて森づくりを体験してもらったり、将来的には近くの棚田で米づくりを通して、自然や食の大切さを一緒に考えていきたいです。

ラ・フランスから生まれたコスメ



（植えた木が）森になるまでだいぶ長いので、皆さんに興味をもってもらえるよう、楽しみながら取り組んでいこうと思っています。

売り上げを森づくりに！

日東ベストは、ラ・フランスを研究する過程で、不要とされてきた剪定枝に、美白有効成分であるアルブチンが多く含まれることを発見し、その成分を含む枝エキスの抽出に成功しました。このたび、同社が枝エキスを配合した基礎化粧品「Fransus Branche」などを販売することになり、化粧品の売り上げの一部を森づくり活動の経費に役立てることを発表しました。

この化粧品は、県庁売店、県観光物産会館、寒河江チエリーランドなどで販売されるほか、同社オンラインショップでも購入できます。

読者プレゼント
 フラナス ブランシュトライアルセットを抽選で5名様にプレゼント！
 詳しくはp.11をご覧ください！



カタクリの森さんぽ(気比の森)：鶴岡市三瀬保育園